

## 個別施設計画

策定年月 | H31.1

施設名	高松農業高等学校		所在地	岡山市北区高松原古才336-2	
敷地面積	149,413.00 m <sup>2</sup>		棟数	62 棟 (計画記載対象 25 棟)	
延床面積	20,890.97 m <sup>2</sup>			※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	高等学校教育のため				
【想定される自然災害】					
予想震度 <u>5強</u> 津波 <u>—</u> 浸水 <u>0.5m～1.0m未満</u>					
建築規制	市街化区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 (2017年度)	電気 593,981 kwh	ガス 1,102 m <sup>3</sup>	水道 9,899 m <sup>3</sup>	燃料 (灯油・A重油) 15,796 0	灯油:12,521 A重油:3,275
管理上の特記事項	敷地内未利用地 29,882.00m <sup>2</sup> 敷地内貸付地 なし 岡山市避難所(土砂災害、洪水、津波)協定による避難場所				

### 1 施設内建物の概況

名 称	教室(120棟)5-1	教室(120-1棟)5-2	理科特別教室(120-2棟)5-3
築年(西暦)	1962 年	1963 年	1964 年
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階
建築面積	279.49 m <sup>2</sup>	249.94 m <sup>2</sup>	189.83 m <sup>2</sup>
延床面積	810.19 m <sup>2</sup>	697.54 m <sup>2</sup>	565.16 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	普通教室	普通教室	設計施工実習室 物理教室 生物・化学教室
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	不適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適    ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適    ※4 傾斜が有る場合は不適    ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	管理室(137棟)1-1	管理室(138棟)1-2	特別教室(139棟)1-3
築年(西暦)	1970年	1971年	1972年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	309.79 m <sup>2</sup>	298.43 m <sup>2</sup>	249.83 m <sup>2</sup>
延床面積	1,142.82 m <sup>2</sup>	1,193.73 m <sup>2</sup>	999.31 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	校長室 事務室 教員室	会議室 視聴覚室 美術教室	教育相談室 調理実習室 被服実習室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	屋根 外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	渡廊下(141棟)	特別教室(142棟)70-1,2,3	生徒会館(145棟)72
築年(西暦)	1974年	1975年	1968年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	91.73 m <sup>2</sup>	643.27 m <sup>2</sup>	207.83 m <sup>2</sup>
延床面積	204.37 m <sup>2</sup>	1,925.36 m <sup>2</sup>	414.43 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	渡り廊下	園芸実習室 食品化学実験室 園芸・畜産実験室	食堂 会議室
主要な設備 (屋外を含む)	-	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	不適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	給排水設備	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	豚舎(繁殖)(154棟)77	実習棟(156棟)79	農業土木棟(157棟)80-1,2,3
築年(西暦)	1982年	1982年	1984年
構造	鉄骨造 1階	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	260.00 m <sup>2</sup>	102.38 m <sup>2</sup>	1,241.43 m <sup>2</sup>
延床面積	260.00 m <sup>2</sup>	204.75 m <sup>2</sup>	2,231.66 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	繁殖豚舎	作物実習室	農業機械実習室 水理実習室 作物実習室
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根 外壁	該当なし	給排水設備

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	教室(160棟)1-4	屋内体育館(164棟)81	畜産実習棟(169棟)83
築年(西暦)	1985年	1989年	1991年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 1階	鉄骨造 2階
建築面積	84.41 m <sup>2</sup>	1,489.68 m <sup>2</sup>	552.83 m <sup>2</sup>
延床面積	253.23 m <sup>2</sup>	1,725.29 m <sup>2</sup>	708.44 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	進路指導室 吹奏楽教室 職員休養室	体育館	作物実習室 園芸実習室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	セミナーハウス(170棟)84	食品製造実習室(173棟)88	牛舎(176棟)91
築年(西暦)	1981年	1993年	1996年
構 造	鉄骨 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄骨 造 2 階
建築面積	303.27 m <sup>2</sup>	397.44 m <sup>2</sup>	664.95 m <sup>2</sup>
延床面積	608.07 m <sup>2</sup>	744.50 m <sup>2</sup>	807.95 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	剣道・卓球場 合宿室	農産加工実習室 生物工学実習室 製造機器実習室	牛舎
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	創立100周年記念館(179棟)102	花卉温室(180棟)92	成鶏舎(181棟)93
築年(西暦)	1999年	2000年	2002年
構造	鉄骨造 1階	鉄骨造 1階	鉄骨造 1階
建築面積	249.27 m <sup>2</sup>	200.00 m <sup>2</sup>	325.83 m <sup>2</sup>
延床面積	249.27 m <sup>2</sup>	200.00 m <sup>2</sup>	325.83 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	ホール	温室	成鶏舎
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	武道場(184棟)96	実習棟(186棟)97	温室(187棟)98
築年(西暦)	2002年	2003年	2003年
構造	鉄骨造 2階	鉄骨造 1階	鉄骨造 1階
建築面積	453.38 m <sup>2</sup>	213.84 m <sup>2</sup>	223.82 m <sup>2</sup>
延床面積	503.16 m <sup>2</sup>	213.84 m <sup>2</sup>	223.82 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	武道場	生産物管理実習室	温室
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	寄宿舍(150棟)76-1,2	
築年(西暦)	1980年	
構造	鉄筋コンクリート造 3階	
建築面積	519.02 m <sup>2</sup>	
延床面積	966.70 m <sup>2</sup>	
主要な用途 (室名等)	寄宿舍(清親寮)	
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備	
利用状況	中	
耐震性 ※1	有	
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適
	中性化 ※3	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
教室(120棟)5-1	設備等の定期更新を行う。
教室(120-1棟)5-2	設備等の定期更新を行う。
理科特別教室(120-2棟)5-3	予防保全を図る。
管理室(137棟)1-1	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
管理室(138棟)1-2	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
特別教室(139棟)1-3	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
渡廊下(141棟)	予防保全を図る。
特別教室(142棟)70-1,2,3	長寿命化改修を行う。
生徒会館(145棟)72	予防保全を図る。
豚舎(繁殖)(154棟)77	予防保全を図る。
実習棟(156棟)79	予防保全を図る。
農業土木棟(157棟)80-1,2,3	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
教室(160棟)1-4	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
屋内体育館(164棟)81	・設備等の定期更新を行う。 ・予防保全を図る。
畜産実習棟(169棟)83	予防保全を図る。
セミナーハウス(170棟)84	予防保全を図る。
食品製造実習室(173棟)88	・設備等の定期更新を行う。 ・予防保全を図る。
牛舎(176棟)91	予防保全を図る。
創立100周年記念館(179棟)102	予防保全を図る。
花卉温室(180棟)92	予防保全を図る。
成鶏舎(181棟)93	予防保全を図る。
武道場(184棟)96	予防保全を図る。
実習棟(186棟)97	予防保全を図る。
温室(187棟)98	予防保全を図る。
寄宿舎(150棟)76-1,2	予防保全を図る。

### 3. 施設全体のスケジュール

#### (概要)

- 1 設備等更新  
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修  
屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。  
(137棟、138棟、139棟)2020年度以降設計・施工  
(142棟)2022年度以降設計・施工  
(157棟)2024年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
教室(120棟)5-1	設備等の定期更新			屋上防水							
教室(120-1棟)5-2	設備等の定期更新			屋上防水							
理科特別教室(120-2棟)5-3	予防保全	予防保全を図る。									
管理室(137棟)1-1	長寿命化改修				設計・施工 4						
	設備等の定期更新								屋上防水		
管理室(138棟)1-2	長寿命化改修				設計・施工 137棟に含						
	設備等の定期更新								屋上防水		
特別教室(139棟)1-3	長寿命化改修				設計・施工 137棟に含						
	設備等の定期更新								屋上防水		
渡廊下(141棟)	予防保全	予防保全を図る。									
特別教室(142棟)70-1,2,3	長寿命化改修										設計・施工 2
生徒会館(145棟)72	予防保全	予防保全を図る。									
豚舎(繁殖)(154棟)77	予防保全	予防保全を図る。									



区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
実習棟(156棟) 79	予防保全		予防保全を図る。								
農業土木棟 (157棟)80- 1,2,3	設備等の 定期更新					屋上 防水					
	長寿命化改修								設計・施工 4		
教室(160棟)1- 4	設備等の 定期更新					トイレ 洋式化					
屋内体育館 (164棟)81	設備等の 定期更新							屋根 改修			
畜産実習棟 (169棟)83	予防保全		予防保全を図る。								
セミナーハウス (170棟)84	予防保全		予防保全を図る。								
食品製造実習 室(173棟)88	設備等の 定期更新							屋上 防水			
牛舎(176棟)91	予防保全		予防保全を図る。								
創立100周年記 念館(179棟) 102	予防保全		予防保全を図る。								
花卉温室(180 棟)92	予防保全		予防保全を図る。								
成鶏舎(181棟) 93	予防保全		予防保全を図る。								
武道場(184棟) 96	予防保全		予防保全を図る。								
実習棟(186棟) 97	予防保全		予防保全を図る。								
温室(187棟)98	予防保全		予防保全を図る。								
寄宿舍(150棟) 76-1,2	予防保全		予防保全を図る。								

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

#### 4. 概算費用

総額 11億円(長寿命化改修等)

## 5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R3.11	農業土木棟(157棟)及び教室(160棟)において、設備等の定期更新を追加
R5.3	屋内体育館(164棟)において、設備等の定期更新を追加
R6.3	管理室(137,138棟)及び特別教室(139棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更
R7.3	管理室(137,138棟)、特別教室(139棟)及び食品製造実習室(173棟)において、設備等の定期更新を追加
R8.3	特別教室(142棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更